



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail:zennacho@zennancho.or.jp

平成29年度第1回理事会 5/27日

午前11:00~定刻に開始された。理事19名の内18名の出席をもって開催された。議案はH28年度事業報告、決算の審議、監査報告、H29年度事業の進捗状況等について意見交換をいたし、一部字句の修正があったが原案通り承認された。途中お昼の休憩を挟み午後4時30分に終了した。



【呼称変更】理事会にて決定!

T付き耳マーク
⇒ヒアリンググループマーク
磁気誘導ループ
⇒ヒアリングループ

きこえのシンポジウム 7/15(土) ~16(日) 主催:補聴医療対策部

締切は定員にて締め切ります。

私達たちが抱える耳の諸問題を話し合う
聞こえの未来を考える

「きこえのシンポジウム」

15日 13:00~16:30 基調講演
パネルディスカッション
17:30~ 懇親会(参加費 3,000円)
16日 9:30~12:30 人工内耳について
メーカー三社の発表と
ディスカッション
13:30~16:30 補聴器について
パネラー
①日本補聴器工業会
②日本補聴器販売店協会
③日本補聴器技能者協会
④全難聴補聴医療対策部
コーディネーター 中川良雄 部長

参加費は無料(但し懇親会費別)

申込・問合せ FAX 06-6886-7374

メール welf@e-mail.jp

お名前、住所、連絡先、懇親会参加の有無を記入の上 FAX 又はメールにてお願いします。

私達が抱える
耳の諸問題を
話し合う
聞こえの
未来を考える

きこえの
シンポジウム

7月15日(土)
13:00~16:30
堺市総合福祉会館5階
南海高野線堺東駅徒歩5分

基調講演
耳科先進医療の
抱える問題点
講師 伊藤 壽一氏
滋賀県立成人病センター研究所 所長
京都大学名誉教授
講師 喜多 和子氏
京都大学耳鼻咽喉科 特定助教
理化学研究所 客員研究員

パネルディスカッション
コーディネーター (2日間)
中川 良雄 氏
堺市きこえ支援協会
全難聴 補聴医療対策部 部長

懇親会
17:30~
ダイワロイネットホテル
参加費 3000円
予約制

開催日
7/15
【土曜日】
7/16
【日曜日】

7月16日(日)
堺市総合福祉会館6階

人工内耳について
9:30~12:30
パネラー
日本光電工業(株)
メドエルジャパン(株)
(株)日本コクレア
人工内耳友の会 ACITA
人工内耳友の会関西
全難聴 補聴医療対策部

補聴器について
13:30~16:30
パネラー
(一社)日本補聴器工業会
(一社)日本補聴器販売店協会
(特活)日本補聴器技能者協会
全難聴 補聴医療対策部

● 参加申込・要予約 ●
参加費は無料(懇親会別)
定員にて締め切ります
参加申込みは、ご希望の演題、
お名前(フリガナ)、ご連絡先、
懇親会ご参加の有無を下記まで
FAX 06-6886-7374
メール welf@e-mail.jp

主催 堺市きこえ支援協会 共催 (一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会(略称全難聴)
後援 堺市・堺市社会福祉協議会・堺障害者団体連合会

📌 要約筆記部会&研修会が行われました。4/29～30 滋賀県草津市

場所：滋賀県聴覚障害情報センター 29日（土）13:00～17:00、30日（日）9:30～14:30

テーマ1:佐野事務局長から「要約筆記事業への理解を進めるために」というテーマで、手話との対比で整理した要約筆記特徴、全難聴が行ってきた要約筆記者養成のための調査研究事業や、養成カリキュラム作成に至るまでの歴史的経緯について講義を受け、部員の地元での要約筆記利用における問題点について情報交換をしました。「要約筆記者派遣事業」は、障害者自立支援法の施行とともに市町村の必須事業となり、現在では、障害者総合支援法の意味疎通支援事業として明確に位置づけられています。しかし、現状では、ボランティア団体であるサークルが派遣事業を担っている所、奉仕員養成を行い、奉仕員が派遣を担っている所など、まだまだ養成・派遣事業の地域格差や平準化にはほど遠い現状が浮き彫りになりました。

テーマ2:平成29年度要約筆記事業研修（広島）の日程は平成30年（2018年）1月6日（土）～7日（日）、会場は広島市東区地域福祉センターで全難聴、広島県難聴者・中途失聴者団体連合会、広島市3社共催となった。研修内容についての相談をした。

テーマ3:第23回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 東京の内容と担当を決定した。分科会テーマは「情報保障への難聴者ニーズと要約筆記事業を取り巻く課題について（仮題）」となった。

テーマ4:平成29年度要約筆記者指導者養成研修に対する取り組みとして部員の受講や今後の講師養成に繋げる。講習会カリキュラムを元に難聴者クラスの設置を目指し計画を建てる。

テーマ5:要約筆記WGでの協議について、福祉大会分科会のパネルディスカッションの詳細を意見交換した。

普段、各地で役員として要約筆記事業に関わりながら、悩み、疑問に思っていることがあっても、メールではなかなか十分な話ができせん。研修でお互いに顔を見合わせて、思いのたけをぶつけて話し合いができること、わからないことをわからないと素直に言えて、仲間からアドバイスが受けられる場は本当に貴重です。この研修を通して学び得たものは、地元での活動に活かしていけますし、他県で頑張っている仲間から大きな大きなエネルギーを得られるのも研修の醍醐味といえます。

29日夜、懇親会を行い、おいしいお酒とお料理で話が弾み、ここで新たな歴史的事実が発覚?! 津名道代氏の著書「聴覚障害への理解求めて①」には、広島女学院中学・高校で学校ぐるみの聴覚障害のある生徒の支援が行われ、その6年間の赤裸々な実践記録が、学院発行の「聴覚障害生と共に学んで」という冊子にもまとめられていることが書かれています。その聴覚障害生というのがなんと要約筆記部員のYさんであることがわかり、皆びっくりで大いに盛り上がりました。研修実施にあたっては、滋賀県中途失聴難聴者協会の皆様に大変お世話になりました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

（宇田川、湯浅、宿谷、神矢の各理事と要約筆記部員が出席、佐野は初日のみ参加）



📌 自民党政務調査会「障害児者問題調査会 情報コミュニケーション推進に関するPT」の全難聴・日盲連・全日ろう連の3団体へのヒアリング開催 5/24

自民党政務調査会の「障害児者問題調査会 情報コミュニケーション推進に関するPT」（平成29年5月24日水曜日 12時～13時 自由民主党本部7階）に小川情報文化部長と共に出席しましたので、概要を報告します。出席議員 衛藤晟一障害児者問題調査会長、福岡資麿PT座長、笹川PT事務局長、今井恵理子、吉川ゆうみ、中川郁子、尾辻秀久、馳浩、三ツ林裕巳ほか、出席官僚 坂本内閣府政策統括官、吉田厚労省自立支援振興室長、村山室長補佐、引間係長他、文部科学省、文化庁等から数名。出席団体 日盲連:藤井貢組織部長、全日ろう連:石野理事長・久松事務局長・嶋本理事、全難聴:小川理事・宿谷理事

説明内容の概略は以下の通りです。

（日盲連）読書バリアフリー法の制定を要望中。マラケッシュ条約の下、全ての人に読書の権利がある。盲人なら点字・デジタル図書が必要。点字図書館と大学図書館のネットワークを上げながら、著作権法の改正に向け着実に準備を進めてほしい。

（全日ろう連）手話言語法と情報アクセシビリティコミュニケーション法の制定に向け、取り組みを加速させたい。ろう者は手話が第一言語。手話での教育環境を整備し、手話で教えられる教師育成も進めている。インクルーシブ教育のもと、特別支援学校ではなく地域の学校で学ぶ児童も増えているので、そこへの支援も含めての法施行をお願いしたい。

（全難聴）聞こえの環境整備が重要なテーマである。また、音声認識、UDキャスト、字幕付け作業などを通じた音声情報の文字化を加速させたい。ヒヤリンググループ等の設置、聴覚障害者に対する電車内の情報等も整備されてきており、耳マークの活用・普及や要約筆記事業の充実等にも取り組んでいる。

閉会后、全日ろう連の石野理事長、久松事務局長が衛藤会長に手話言語法のことについて直談判。しかしながら衛藤会長が「今日は手話による教育が必要だという一辺倒な話になっているが、児童の聴覚障害者のレベルは様々。口話も大事だし、残存聴力を補いながらの教育という視点もある。難聴と呼ばれている人達にどのような教育が合っているかということも考えなければならない。手話も併せて使った方が効果的な難聴者もいることはよく存じているが、手話言語法だけでは、要約筆記や文字化を必要とする人にはどうか。手話だけを大上段に振りかざすのはいかがなものか」と言われたのには驚きました。また、国は「情報コミ法が先」であり、全日ろう連は「手話言語法が先」という構図も阻害要因の一つかと思えます。[報告:宿谷]

📌 成田空港 UD 推進委員会 5/22 午前:委員会 午後第3ターミナル視察と意見交換

5月22日(月) AM	委員会(第1回:趣旨説明)
PM	分科会(第1回:空港視察①)
27日(土) 終日	分科会(第2回:空港視察②)
28日(日) 終日	分科会(第3回:空港視察③)

📌 理事の動き (5/1~5/31)

- 5月 7日 第二次要約筆記WG (新谷、宇田川)
- 5月 8日 JICA東北とのネパール支援についての協議 (瀬谷)
- 5月16日 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大本部会議 (新谷、佐野)
- 5月21日 みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会 20周年式典 (新谷)
- 5月22日 成田空港のUDを検討する委員会 (新谷)
第3ターミナル研修と見学 (小川)
- 5月23日 JDF幹事会 (新谷)
- 5月24日 自民党情報コミュニケーションPT ヒアリング (宿谷、小川)
- 5月26日 リハビリテーション協会第1回理事会 (新谷)
- 5月26日 NPO法人日本障害者協議会第6回総会 (新谷)
- 5月26日 MASK理事会 (小川)
- 5月26日 監査 (田代、齋藤)
- 5月27日 全難聴理事会 戸山サンライズ 理事 18名
- 5月31日 全難聴便り 108号発行

《6月予定》

- 6月 3日 全聴情協「第13回施設大会」 総会・式典 シンポジウム 水戸市
- 6月 4日 全国ろうあ者大会式典 in 福岡
- 6月10日 ACITAの会 大会・式典
- 6月11日 全難聴 総会
- 6月11日 国際部部会
- 6月15日 (一社)日本補聴器販売店協会 総会
- 6月17~18日 (特非)全要研集会 北海道 旭川市
- 6月21日 補聴器技能者養成講習会 (名古屋)
- 6月28日 聴力障害者情報文化センター 評議員会
- 6月29日 視聴覚障害4団体連絡会
- 6月30日 全難聴便り 109号発行

《6月11日(日)開催の定期総会会場は東京都障害者福祉会館です》

第23回 全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 東京 タイムスケジュール

- ★11月4日(土) 11時30分~ 受付開始(国立オリンピック記念青少年総合センター)
13時~16時半 分科会 (センター棟 101,309,310,311,501 の各分科会会場にて)
18時30分 懇親会受付開始(京王プラザホテル新宿 エミネンスホール)
19時~21時 懇親会
- ※特別企画 劇団四季ライオンキング バリアフリー観劇会 13時~四季劇場(大井町)
詳細は後日難聴者席100席、ポータブル字幕、ヒアリンググループ付き
- ★11月5日(日) 9時~受付開始 (国立オリンピック記念青少年総合センター加チャ棟大ホール)
9時15分 開場
9時45分~10時45分 式典
11時~12時45分 全体会 藤井克徳氏講演・理事長との対談
13時~14時 昼食休憩
14時~15時 記念講演 星野智幸氏
15時15分~15時35分 アトラクション
15時40分~15時55分 閉会式・引継ぎ式